



石川県立音楽堂
楽友会

楽友会だより

会報 第70号

発行者
石川県立音楽堂「楽友会」
代表 田中義久
発行日 2011.4.25

その2

私はこれが聴きたい!

○小川 牧子

公演 No.113 (5月2日)
シューベルト (鈴木行一編曲)
: 歌集「冬の旅」D.119 (バリトンオーケストラ版)
「菩提樹」「春の夢」「辻音楽師」ほか

今年の楽しみはドイツ歌曲集の中の「冬の旅」です。ヴィルヘルム・ミュラー詩に魅せられたシューベルトがどんな想いで創作したのか、それとも人生そのものだったのか、想像するしかありません。特に最終章はしみじみと心にせまるものがあります。シューベルトの短い人生に思いをはせながら…

○相河さち子

公演 No.113 シューベルト: 歌曲集
公演 No.112 ロッシーニ: 「ウィリアム・テル」
序曲 (5月2日)
公演 No.213 シューベルト: キリエ (5月3日)

バリトンのホルツマイヤーの声を聴いてみたい。まだ見ぬ人への憧れのように楽しみに待っている。ヨンミン・バクと井上道義ふたりの指揮で、4人の作曲家の序曲が聴ける。特に「ウィリアム・テル」は私の携帯の目覚ましメロディ。今回初めて、しかも生で聴ける。これからは目覚めがさぞ良くなるでしょう。

○高橋一彦

公演 No.111 シューベルト
: 交響曲第8番「未完成」(4月29日)

代表作「未完成」は若い頃はそんなに聴けなかったが、最近は名曲だと思えるようになってきた。OEKが観光会館(現金沢歌劇座)で演奏していた時代に、ソニーの大賀さんが振ったのを思い出す。第2楽章に入るとじわじわ涙が出てきた。今回は井上道義が振ると思うが、よく聴いて欲しい。

第30回記念ロビーコンサート

「午後のシャンソンカフェ」のご案内

金沢を拠点にシャンソン歌手として活躍されている長谷川 密さんを迎え、第30回記念コンサートを開催します。会場を音楽堂交流ホールに移し「午後のシャンソンカフェ」を楽しんで頂けるよう、ワインやお茶等をご用意してお待ちしています。是非お出かけください。

2011年 5月23日(月) 14:00開演 入場無料
石川県立音楽堂 交流ホール

出演 シャンソン歌手 長谷川 密
ピアノ 鈴木 三知子
歌唱指導 能 千代 ピアノ 加藤 純子

がんばれ! 楽友会 新組織のスタートに当って

楽友会代表幹事 田中 義久

石川県立音楽堂楽友会は、この4月から会費を徴収することとなった。

随分長い間、積んだり崩したり議論を重ね、ようやく新しい組織のスタートとなったわけである。

これにより、姿・形は出来た。会員の参加意識も高まり、スムーズなスタートとともに、会員増にもつなげることができた。再度、事業計画を見直し、性根を



4月18日 仙台フィルとOEK合同の復興支援コンサートが開かれた

(写真提供=石川県立音楽堂)

さらに、OEK定期公演のリハーサル見学会も決まり、活発な動きが出てきたように思う。この他計画中的のものもあり、賑やかな、そして有意義な行事が行われるのではないかと考えている。

その基本は「志」ある行動ではないか。楽友会が標榜する「音楽の生活化」を目指し、誇りを持った対応と行動が要求されると思う。

3年前、ラ・フォル・ジュルネが音楽堂を中心に開催され、一気に「音楽する人」が増え、クラシックの普及が一挙に進んだことは、記憶に新しい。

今回の東日本大震災についても、音楽の力が再認識された。フランスの指揮者、カンブルランは、昨年はアイスランドの火山噴火で航空事情の悪いなかを、今年も東日本大震災の中で来日した。彼は「このような状況だからこそ、芸術や文化が必要だ」と語っている。

OEKも3月21日、被災地に「住み、これから期待される17歳のヴァイオリニスト郷古藤さんと共演し、いち早く募金も行った。」

また、4月18日には、被災しホールを失った仙台フィルハーモニー交響楽団とOEKが合同で、復興支援コンサートを音楽堂で開催、入場収入を被災地への復興資金として仙台フィルに預託した。

街は「がんばれ!日本」一色、のコールだが、我々は「がんばれ!楽友会」を加えたい。

*読売日本交響楽団 常任指揮者
シルヴァン・カンブルラン

楽友会の組織力強化と 音楽堂の一層の発展を期して —— 平成23年度通常総会終わる ——

6月30日(休) 17時から、石川県立音楽堂4階会議室にて通常総会が開催されましたので概要をご紹介します。

開会にあたり、田中義久代表から「楽友会は本年度から会費制を導入した。自主財源が確保できたことでこれまで以上に楽友会活動を活性化し、音楽堂ともしっかり連携して、石川県のみなならず全国各地にOEKファン層を広げていく活動に取り組みたい」との挨拶がありました。

続いて来賓の山腰館長から「本年は開館10周年を迎えるが、これも楽友会の皆様の日頃のこ



通常総会

支援・ご協力のおかげです。引き続き皆様のご支援をお願いしたい」との挨拶があり、田中代表、静岡副代表に対し「本年度も引き続き役員を引き受けていただきたい」との申し入れがありました。

議事進行にあたり久保敬夫氏が議長に指名され、議案は原案の通り承認されました。

これまでの総会では、H22年度活動報告及びH23年度活動計画に関し事務局がまとめて説明をしていましたが、今年総会では各グループリーダー(普及支援、業務支援、邦楽支援、ロビーコンサート、OEKフレンズ、資料室、「楽友会だより」編集)自らご説明頂いたことで活動状況が良く理解でき、何よりもリーダー

今年も『ふれあい伝統芸能ランド』の開催日が近づいて参りました。楽友会の皆様には、来場者の誘導ほか労多様な仕事を毎回きめ細かくお手伝いいただき、感謝のほかにありません。御蔭さまで大過なく事業が遂行できますことと有難く、この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

体験コーナーは、例年どおり20余を用意しております。香道や茶道も加えた、これだけのスクールを持つ伝統芸能ワークショップは余所ではな

かなかお目にかかれないうと自負しております。全国的に注目度も高いのですが、経験を積んで実も上がってきていることを喜びたいと思います。

今年はいくつか新味を加えてみました。まず、講談が新加入です。講師は女流で真打ち。来場者の反応に期待しています。昔懐かしい船細工も新加入。子どもが喜びそうです。好評の紙切りは講師が替りました。この船細工と紙切りの講師は大阪から招いています。関東とは一味違う風が

講談や船細工が新加入
『ふれあい伝統芸能ランド』
石川県立音楽堂邦楽プロデューサー 児玉 信

一の意気込みが伝わってきたことがとても良かったと思います。

総会終了後、金沢百番街の八兆屋「駅の蔵」に場所を移し、音楽文化振興事業団から岩崎事業部長、新村事務局長、斉藤緑邦楽部マネージャーにも新たに加わっていただき懇親会を行いました。楽友会そして音楽堂のより一層の発展を心に期し、今後の活動に取り組んでいきたいと思っております。(事務局 菅田 清)

『JOFC総会in金沢』を成功させよう!!

JOFC(日本プロオーケストラ・ファンクラブ)の総会が今年金沢で開催されます。全国からそれぞれの街のオーケストラを応援するファンクラブが一同に会します。多くの楽友会会員の皆様に参加いただき、会を大いに盛り上げよう!

○ 9月17日(土)

総会 12:30~
ANAクラウンプラザホテル3F 鳳の間
演奏会 15:00~
石川県立音楽堂コンサートホール
懇親会 18:30~
ANAクラウンプラザホテル3F 鳳の間
詳細は別途ご連絡いたします。

**ふれあい
伝統芸能ランド**

8月6日(土)
7日(日)
9:30~
交流ホール

楽しめるでしょう。
琵琶・三味線・箏・日本舞踊・笛・鼓、踊りのお化粧、チンドン...。お馴染の顔も揃います。南京玉すだれ・紙切り・講談・動物物真似の出演による「ふれあい寄席」も健在。

二日間、どうぞ宜しくお付き合い下さい。